

四條畷市議会だより



主な
掲載内容

- 02-03 令和4年度・5年度政務活動費収支報告/議会議員/表彰状・感謝状授与
04 6月定例議会のあらまし/審議結果/人事案件
05 本会議討論
06-12 一般質問/次回定例議会・委員会の予定等

令和4年度政務活動費収支報告

本市議会では、政務活動費の収支報告への領収書の添付を義務付けし、政務活動費の支出に係る責任の所在を明確にするとともに、透明性の確保を図ることとしております。

下記のとおり、令和4年度分として交付された政務活動費に対する収支報告を掲載するとともに、市議会ホームページにも収支報告書と領収書の写しを掲載いたしております。



収支報告書の見方【科目①～⑪(単位:円)】

- ①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費
⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨通信交通費 ⑩人件費 ⑪事務所費

※収入から合計を差し引いた金額(残金)が1円以上ある場合は、市へ返金となります。

※科目ごとに金額を記載し、その科目の主な内容を備考欄に掲載しています。

小原 達朗 議員
収入 480,000 円
(内訳 40,000×12ヶ月)

科目	金額	備考
①	0	
②	83,900	研修会費用
③	76,568	チラシ印刷費・ポスティング代
④	0	
⑤	29,480	国土交通省他要望活動
⑥	0	
⑦	0	
⑧	129,220	月刊雑誌、新聞購入費
⑨	1,283	ガンソリン代
⑩	0	
⑪	0	
合計	320,451	
差引	159,549	
返金額	159,549	

瓜生 照代 議員
収入 480,000 円
(内訳 40,000×12ヶ月)

科目	金額	備考
①	0	
②	59,700	研修会受講費・交通費
③	79,323	個人報印刷・ポスティング
④	0	
⑤	29,480	交通費
⑥	0	
⑦	0	
⑧	3,780	書籍・資料
⑨	0	
⑩	0	
⑪	79,200	事務所賃借料
合計	251,483	
差引	228,517	
返金額	228,517	

渡辺 裕 議員
収入 480,000 円
(内訳 40,000×12ヶ月)

科目	金額	備考
①	0	
②	0	
③	565,179	市政報告印刷代・デザイン代等
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	55,660	雑誌購入費
⑨	0	
⑩	0	
⑪	0	
合計	620,839	
差引	△140,839	
返金額	0	

岸田 敦子 議員
収入 480,000 円
(内訳 40,000×12ヶ月)

科目	金額	備考
①	150,000	防災計画への提言調査委託
②	0	
③	221,440	議会報告No.147～156印刷代
④	1,900	市政報告会・防災調査部屋代
⑤	0	
⑥	0	
⑦	3,132	コピー用紙、プリンターインク等、消耗品の購入費
⑧	28,246	書籍購入費
⑨	0	
⑩	0	
⑪	770	パソコン購入費
合計	405,488	
差引	74,512	
返金額	74,512	

長畑 浩則 議員
収入 480,000 円
(内訳 40,000×12ヶ月)

科目	金額	備考
①	0	
②	0	
③	939,888	市政報告関連費用 [印刷・ポスティング・郵送] は 50～70%で計上
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	※1 Adobe Creative Cloud 利用料 1年分合計74,976円は未計上
⑧	19,800	書籍:都市データバック2022(東洋経済発行)
⑨	0	未計上
⑩	0	
⑪	0	未計上
合計	959,688	
差引	△479,688	
返金額	0	

島 弘一 議員
収入 480,000 円
(内訳 40,000×12ヶ月)

科目	金額	備考
①	0	
②	0	
③	526,286	印刷製本費 / 委託料
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	0	
⑨	0	
⑩	0	
⑪	0	
合計	526,286	
差引	△46,286	
返金額	0	

吉田 涼子 議員
収入 480,000 円
(内訳 40,000×12ヶ月)

科目	金額	備考
①	0	
②	83,480	公共施設特別研修
③	112,892	市政報告書印刷、委託料
④	0	
⑤	29,480	国政へ要望
⑥	0	
⑦	0	
⑧	2,500	ポストコロナ社会の公共施設マネジメント
⑨	0	
⑩	0	
⑪	0	
合計	228,352	
差引	251,648	
返金額	251,648	

森本 勉 議員
収入 480,000 円
(内訳 40,000×12ヶ月)

科目	金額	備考
①	42,000	衆議院第一議員会館・総務省陳情
②	0	
③	312,520	印刷費・委託費 議会報告書全戸配布2回
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	9,680	コピー代
⑧	0	
⑨	11,293	ガンソリン代
⑩	0	
⑪	12,000	家賃・駐車場代
合計	387,493	
差引	92,507	
返金額	92,507	

※1は市政報告作成に使うソフトPhotoshop/illustrator/Acrobat

吉田 裕彦 議員
収入 480,000 円
 (内訳 40,000×12ヶ月)

	金額	備考
①	150,000	本市の地域防災の調査研究
②	0	
③	114,625	市政報告:25号
④	0	
⑤	29,816	東京陳情
⑥	0	
⑦	0	
⑧	75,204	教育新聞・農業新聞等
⑨	9,631	事務所固定電話代
⑩	0	
⑪	102,161	コピー機リース代・保守料・電気代
合計	481,437	
差引	△1,437	
返金額	0	

藤本 美佐子 議員
収入 480,000 円
 (内訳 40,000×12ヶ月)

	金額	備考
①	0	
②	0	
③	402,746	市政報告印刷配布等
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	7,330	事務用品
⑧	10,500	書籍
⑨	17,104	ガソリン代
⑩	0	
⑪	56,541	複合機リース、ノートパソコン等
合計	494,221	
差引	△14,221	
返金額	0	

柳生 駿祐 議員
収入 480,000 円
 (内訳 40,000×12ヶ月)

	金額	備考
①	0	
②	0	
③	283,832	チラシ印刷費用、ポスティング費用、チラシデザイン費
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	597	白板マーカー
⑧	11,000	日本教育新聞購読料
⑨	0	
⑩	0	
⑪	0	
合計	295,429	
差引	184,571	
返金額	184,571	

大矢 克巳 議員
収入 480,000 円
 (内訳 40,000×12ヶ月)

	金額	備考
①	0	
②	0	
③	0	
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	0	
⑨	0	
⑩	0	
⑪	0	
合計	0	
差引	480,000	
返金額	480,000	

令和5年度政務活動費 収支報告（4月分のみ）

下記のとおり、令和5年度4月分として交付された政務活動費に対する収支報告を掲載するとともに、市議会ホームページにも収支報告書と領収書の写しを掲載いたしております。



大阪広域水道企業団議会議員
 5月18日付けで推薦しておりました島 弘一議員が、6月9日付けで就任しました。

全国市議会議長会 表彰状・感謝状の授与

15年表彰
 ながはた ひろのり
長畑 浩則 議員



第99回全国市議会議長会定期総会において、永きにわたり市政の振興に努められた功績により、長畑浩則議員が議員在職15年の表彰状を授与されました。

感謝状
 ふじもと みさこ
藤本 美佐子 議員



第99回全国市議会議長会定期総会において、全国市議会議長会の評議員として、本会の使命達成に尽くされた功績により、藤本美佐子議員が感謝状を授与されました。

吉田 裕彦 議員
収入 40,000 円
 (内訳 40,000×1ヶ月)

	金額	備考
①	0	
②	0	
③	49,500	市政報告・新聞折込代
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	1,887	公明新聞
⑨	808	事務所固定電話代
⑩	0	
⑪	8,622	コピー機リース代・保守料・電気代
合計	60,817	
差引	△20,817	
返金額	0	

藤本 美佐子 議員
収入 40,000 円
 (内訳 40,000×1ヶ月)

	金額	備考
①	0	
②	0	
③	70,000	市政報告配布委託料
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	0	
⑨	0	
⑩	0	
⑪	0	
合計	70,000	
差引	△30,000	
返金額	0	

6月定例議会のあらまし

令和5年6月定例議会は、議会期間を6日から23日までとして開会しました。

この定例議会では、報告4件、四條畷市介護保険条例などの新規条例3件、四條畷市印鑑条例などの一部改正5件、市立岡部小

学校校舎棟空調設備整備工事の契約締結について、令和5年度一般会計補正予算(第4号)などの補正予算2件、教育委員会委員の任命、人権擁護委員の推薦2件について審議を行い、すべて可決しました。

令和5年6月定例議会審議結果

	全会一致で可決した議案	概要 (議案の説明)
新規 条例	四條畷市介護保険条例の制定について	令和6年度から介護保険事業を単独実施するにあたり、介護認定について審査判定業務を行う介護認定審査会を新たに設置する。
	四條畷市地域密着型サービス等運営委員会条例の制定について	令和6年度から介護保険事業を単独実施するにあたり、地域密着型サービス等の事業を行う事業者の指定等について調査、審議する必要があることから、地域密着型サービス等運営委員会を新たに設置する。
	四條畷市介護保険施設等の基盤整備に係る事業者選定委員会条例の制定について	令和6年度から介護保険事業を単独実施するにあたり、介護保険施設等の基盤整備について事業者の選定に必要な事項を調査、審議する必要があることから、介護保険施設等の基盤整備に係る事業者選定委員会を新たに設置する。
条例 改正	一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	新型コロナウイルス感染症について、本年5月8日から、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律上の位置付けが、新型インフルエンザ等感染症から5類感染症に変更されたことに伴い、国において感染症防疫作業手当の特例が廃止されたため、所要の改正を行う。
	四條畷市税条例の一部を改正する条例の制定について	地方税法の一部改正等に伴い、寄附金税額控除に係る市民公益税制の導入、森林環境税の導入に伴う所要の整備、扶養親族等申告書の記載事項の簡素化、特定小型原動機付自転車の車両区分創設に伴う所要の整備、長寿命化に資する大規模修繕工事を行ったマンションに係る税額の減額措置及び燃費・排ガス不正行為に係る税制上の再発防止策の強化等を行うため、所要の改正を行う。
	こども家庭庁設置法等の施行に伴う厚生労働省関係省令等の整備に関する省令等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	こども家庭庁設置法等の施行に伴う厚生労働省関係省令及び内閣府令の一部改正に伴い、引用条項の整理が必要となるため、所要の改正を行う。
その他	市立岡部小学校校舎棟空調設備整備工事の契約締結について	市立岡部小学校校舎棟空調設備整備工事に伴う入札の予定価格が1億5000万円以上となることから、議会の議決を求める。
補正 予算	令和5年度四條畷市一般会計補正予算(第4号)	現予算から3億6118万5千円増額し、予算総額を242億1694万6千円と定める。
	令和5年度四條畷市介護保険特別会計補正予算(第1号)	現予算から65万円増額し、予算総額を1億3409万1千円と定める。
同意	教育委員会委員の任命について	令和5年9月30日付けをもって任期満了となる佃千春氏を適任と認め引き続き任命する。
	人権擁護委員の推薦について	令和5年12月31日付けをもって任期満了となる川本佳二氏を適任と認め引き続き推薦する。
	人権擁護委員の推薦について	令和5年12月31日付けをもって任期満了となる向井正樹氏の後任者として森田紀子氏を適任と認め推薦する。

○賛成、×反対

審議した議案と議員の賛否	結果	大阪維新の会		畷ビジョンの会		市議会公明党		なわて葵風会				会派に属さない議員	
		土井	柳生	坂本	長畑	島	若松	吉田(涼)	吉田(裕)	藤本	渡辺	森本	岸田
四條畷市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×
四條畷市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×

※議長は法律により採決に参加できません。

人事案件

教育委員会委員

令和5年9月30日付けをもって任期満了となる佃^{つくだ}千春^{ちはる}氏を適任と認め、引き続き任命することに同意しました。

人権擁護委員

令和5年12月31日付けをもって任期満了となる川本^{かわもと}佳^{けい}二^じ氏を適任と認め、引き続き推薦することに同意しました。

令和5年12月31日付けをもって任期満了となる向井^{むかい}正^{まさ}樹^き氏の後任者として森田^{もりた}紀^{のり}子^こ氏を適任と認め、推薦することに同意しました。

本会議討論

四條畷市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、移動端末設備を用いた証明書等の自動交付サービスを実施するため、所要の改正を行うものです。

反
対

会派に属さない議員

岸田 敦子 議員



マイナンバーに関して次々とトラブルが発生している実態が明らかになっている。本市はないが、全国ではマイナ保険証で別人の情報の紐づけ事例などトラブルが多発している。マイナンバーの活用に不安を感じている人が多く、制度の信頼性が揺らいでいるさなかに出してくること自体賛成できない。日本共産党はそもそもマイナンバー制度が財界の要求から出発し、個人情報管理することなどが狙いであり、制度そのものの拡大が認められないという立場であることを述べて反対討論とする。

賛
成

市議会公明党

吉田 涼子 議員



電子証明書を利用することで簡素化のサービスが提供されることとなるが、最近の報道で取り上げられ、多数の問題が明らかになり不安視されているのも事実である。本市でもDXを推進していくうえでは、とても大事である。これらの不安を払拭し、本市としてしっかりとセキュリティの強化をすることを要望し、賛成討論とする。

賛
成

なわて葵風会

渡辺 裕 議員



改正に関する大きな問題点として、認証業務に係る問題があると思う。信頼性とセキュリティは極めて重要なため、強化してもらいたい。一方でその手続きが煩雑になると利便性の低下につながるため、両方を並存させることは難しいがしっかり頑張ってもらいたい。印鑑証明書の件について、以前答弁もあったが、市民が求めているものは何かという観点からしっかり改修することを要望し、賛成討論とする。

賛
成

畷ビジョンの会

長畑 浩則 議員



移動端末設備を用いた証明書等の自動交付サービスを実施するということが、多くの市民にとって便利になる反面、いろいろと問題もある。この問題に対しては、しっかりと国へ要望を上げ、少しでも安全な形で市民の方が使えるように要望して賛成討論とする。

四條畷市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

消費税法の改正により令和 5年10月1日から適用開始となる適格請求書保存方式（いわゆる消費税インボイス制度）への対応等するため、所要の改正を行うものです。

反
対

会派に属さない議員

岸田 敦子 議員



本市の下水道事業として導入せざるを得ない事情は分かりつつも、インボイス制度そのものに問題があると考えている。インボイスは中小企業などに消費税納入をしないと仕事ができないようにするもので、今でも反対の声が根強くある。市は国の方針により本改正をせざるを得ず、市に問題があるとは考えていないが、制度そのものの狙いや問題点が指摘され、インボイス制度の延期や廃止の声が続いている中で手放しに賛成できない。

賛
成

なわて葵風会

渡辺 裕 議員



そもそも消費税は、預り金としての性質を有するもので、その預り金を預かりっぱなしという益税的なことがこれまで問題となり、それを改正するものがインボイス制度であると認識。消費税のほとんどが社会保障に使われている。下水道事業においてインボイス制度を適用し、ひいては社会保障の充実につなげてもらえるよう要望し賛成の討論とする。

1. 島 弘一 議員

- 下田原西交差点、逢阪生駒口線及び府道中垣内南田原線交差点について
- 障がい者向けアンケートの実施の意向について

2. 柳生 駿祐 議員

- 学校給食費の無償化に向けて
- 指定管理者制度のより良い運用に向けて
- 通学路における防犯カメラの設置基準や計画の検討の進捗について
- 防犯施設等に係る指針の策定について

3. 土井 一慶 議員

- 情報公開制度について
- 市広報誌の重要性について
- 公共施設等総合管理計画の進捗状況について
- 災害時における本市の体制について
- なわてふれあい教室の受け入れ体制について

4. 坂本 勇基 議員

- 人事戦略基本方針について
- 戎公園の改良について
- 田原台六丁目から田原中央線へのアクセスルートの新設について
- 田原台中心地のアカカベ店の周辺開発について

5. 吉田 裕彦 議員

- 魅力と活気に満ちたまちへについて
- 公募型のまちづくり提案事業制度の実施状況と成果について
- 市民団体へのニーズ調査のスケジュールと内容について
- DXの推進における市民サービス向上について

6. 吉田 涼子 議員

- 腰かけベンチの設置について
- がん検診受診率向上に向けた取組みについて
- 不登校児童の支援について

7. 岸田 敦子 議員

- 公共施設の再編について
- 移動図書館について
- 自転車のヘルメット補助制度について
- 生理用品のトイレへの設置について

8. 藤本 美佐子 議員

- 職員提案制度について
- 児童生徒を対象とした学校給食のアンケートについて
- お出かけサポートタクシーについて
- 期日前投票における移動支援の実績について
- 投票所の立地に関する選挙人からの要望等について
- 田原台六丁目4番6の現況緑地(約21,000㎡)(未利用地)について

9. 若松 正治 議員

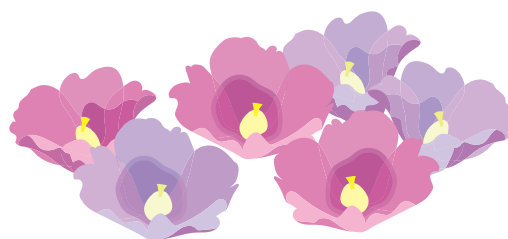
- 学校給食費の完全無償化について
- 市民の憩いの公園について

10. 長畑 浩則 議員

- 職員の職場環境について
- 忍ヶ丘小学校の通学路について
- こども誰でも通園制度について
- 新池の都市公園化について

11. 渡辺 裕 議員

- くすのき広域連合解散に伴う現状の問題点と解決すべき課題について
- 公共施設再編について



6月22、23日に、11人の議員が行いました。青色の項目はその概要を掲載しています。





睨ビジョンの会
島 弘一 議員

障がい者向けアンケートの実施の意向について

問 さまざまな障がいを持つ人が、一番困っていることは何かなどアンケートや聞き取り調査をしてインクルーシブでユニバーサルデザインのまちづくりや改善部分を見つけることが大切だと感じているが。

答 今年度、「第7期四條畷市障がい福祉計画・第3期四條畷市障がい児福祉計画」を策定するため、現在障がい者等を対象にアンケート調査を実施している。障がいのある人が抱える課題やニーズを把握するため、障がい当事者や介護者へのアンケート調査のほか、障がい者関係団体にヒアリングを行うなど、さまざまな声

を聞きながら地域課題の整理に努めていく。

下田原西交差点、逢阪生駒口線及び府道中垣内南田原線交差点について

問 朝夕の交通渋滞の原因について具体的な説明とその改善策は。

答 2か所の交差点は、国道163号及び阪奈道路といった幹線道路に接続するため、地域の人だけでなく多方面からの通過交通が一時的に増えることが、朝夕の渋滞の根本原因と推測。改善策は、多方面からの通過交通を減少させるべく、清滝生駒道路を早期に供用開始されることが最善と考えている。

問 下田原の交差点と2か所の出入口逢阪生駒口線と府道中垣内南田原線の交差点について、原因を特定した根拠と、清滝生駒道路開通以外の解決策はないのか。阪奈道路に向かう車は、清滝生駒道路開通に直接関係はあるのか。

答 過去において、現場確認も含め、

警察と協議したが、通過交通が一時的に増えることが原因と認識。開通以外の解決策は、警察及び国や大阪府との協議が必要だが、清滝生駒道路開通後の交通量に合わせて下田原西交差点並びに阪奈道路交差点の信号機の時間調整による対策が考えられる。清滝生駒道路が開通すれば下田原西交差点の渋滞が緩和され、加えて、逢阪生駒口線を経由し、阪奈道路へ向かっていた車両は清滝生駒道路を利用し奈良方面へ向かうと考えられるため、逢阪生駒口線及び府道中垣内南田原線交差点の渋滞緩和につながると考えている。

問 通過交通の制限をかける対策は可能か。田原地区の生活権の侵害で行政の責務ではないのか。

答 警察の管轄であり、本市のみで判断できない。

問 南北の一般道が少ないことはどう考えているか。

答 一時的に交通量が増える時間帯もあるが、道路交通網としては機能していると認識。



大阪維新の会
柳生 駿祐 議員

学校給食費の無償化に向けて

問 第2子以降の学校給食費の無償化によって生まれる効果はどのような指標等で把握していく予定か。

答 負担軽減が効果に挙がるが、定量的な指標等で把握することは困難である。

問 給食費の完全無償化に向けて、効果の見える化が必要。現施策の効果検証のために市民意識調査で調査は可能か。

答 現在行っている市民意識調査は、全市民を想定している調査のため、対象者を限定した設問は、目的に馴染まない。

問 給食費の完全無償化には毎年約2億円必要となり、この投資に対して

効果がわかるようにする必要がある。「今の一部無償化よりも、完全無償化はこれだけの効果が見込めず、だから投資をしていきましょう」といった流れを作ることができるよう効果検証を進めてもらいたい。

指定管理者制度のより良い運用に向けて

問 指定管理者制度は、公共施設を民間法人等に委託する制度。市で大規模修繕を行うのではなく、民間事業者が運営をしやすいように、計画的な管理や施工ができる形態がいいのではと思うが、考えはどうか。

答 定期的に業者が変更になるという前提条件があり、責任の所在が不明瞭となる恐れがある。

問 短期間だから民間事業者の創意工夫が部分的になっている。今までと同じではなく、一歩先に進むことで行政の負担の軽減に繋がっていく。メリットを最大限に発揮できるように委託の手法や長期間の委託について検討を進めてもらいたい。

防犯施設等に係る指針の策定について

問 北河内における1小学校当たりの防犯カメラ数は下表の通り。北河内の中でも地域格差があり本市は少ない状況。今年度策定予定の防犯に関する指針の方向性は。

市防犯カメラ数÷学校数(箇所)

四條畷	守口 (最多)	交野 (最少)
15	82	12

答 市民が安心・安全に暮らせるまちづくりの実現をめざすこととしており、現在、本市が取り組む防犯カメラ及び防犯灯の設置に関し、施策の充実を図っていきたい。

問 教育委員会、警察署等関係部署と連携して、他市と同等レベルの防犯カメラの増設を進めてもらいたい。



大阪維新の会
土井 一慶 議員

公共施設等総合管理計画の 進捗状況について

- 問 四條畷小学校の目標耐用年数は。
- 答 目標耐用年数の60年は目の前に迫ってきている状況。
- 問 目標の意味は。
- 答 構造的な劣化度、ここを加味しながら建物としての安心・安全に使える期間だと認識している。
- 問 公共施設の話というのは、簡単に進まない。だからこそ、早急に議論を進めていくべきでは。
- 答 様々な条件を理解しながら進めていく。
- 問 関連する計画の内容がバラバラになっている。
- 答 市民に誤解を与えないよう調整

する。

情報公開制度について

- 問 情報公開条例に基づく開示請求の方法は。
- 答 申請用紙を持参、FAX、郵送に加えてオンラインでも申請可能。
- 問 開示方法は。
- 答 基本的には、閲覧(無料)又は文書をコピーして渡す場合は1枚につき10円必要。
- 問 大東市はメールも対応し費用も無料。本市もDXを推進している中で検討するべきだと思うが、いかがか。
- 答 今後十分に検討していかねばならないと考えている。

市広報誌の重要性について

- 問 広報誌は情報伝達的手段として非常に重要だと考えるが。
- 答 多くの市民に情報を届けられる市の主要な広報媒体と考える。
- 問 配布方法は。
- 答 地域によるが、シルバー人材センターと自治会へ委託している。

- 問 自治会に加入していないから広報誌が届かないという声があるが。
- 答 契約書には、全世帯配布となっているので、再度周知していく。

なわてふれあい教室の 受け入れ体制について

- 問 田原ふれあい教室の定員が120人のところ受け入れ可能数が80人、弾力対応して90人受け入れても待機入所者数が12人もいる。この理由は。
- 答 人員配置の関係である。
- 問 夏休みの募集状況は。
- 答 南小ふれあい教室でしか受け入れられないという募集となっている。
- 問 保護者等の送迎が必須になっていて車の送迎は不可になっているが田原に住んでいる人はどのように通室するのか。
- 答 市役所の駐車場を利用できるように対応する。
- 問 周知徹底をお願いしたい。



大阪維新の会
坂本 勇基 議員

人事戦略基本方針について

- 問 人材確保と若手職員のステップアップに人事評価を含めた人事戦略基本方針を伺う。
- 答 潜在的基礎能力や本市の理念への共感が高い人材を採用。人事評価は全職員を対象に能力評価と、主任級以上の職員を対象に実績評価を実施。評価の過程は評価者との面談を通して自律的な職員への成長を促進。
- 問 全職員へのヒアリングを実施し、成果主義による評価と人材育成のプロセスを継続協議してもらいたい。

戎公園の改良について

- 問 戎公園は駐車場とトイレはあるが、遊具のない平原のみ。戎公園への

遊具やベンチ、健康機器の設置を行うなど公園改良について伺う。

- 答 新たな設置は個別施設計画に示す戎公園管理棟建て替え時期の2030年代に検討する予定。

田原台六丁目から田原中央線への アクセスルートの新設について

- 問 2022年冬に田原台六丁目出入口が凍結で通勤・通学ができない事案が発生。出入口対面に位置するのり面に階段を設け、安心・安全な生活環境の確立を実現すべきと考えるが。
- 答 当該のり面は高く勾配や構造上など課題は多い。
- 問 本件の課題についてどう考えるか。
- 答 凍結防止措置として凍結防止剤を配置し、大雪や凍結時は委託業者と市職員により散布して対応。
- 問 やはりのり面を使うべきでないかと思うがいかがか。
- 答 課題もあるが、発注する公共空地等未利用地の可能性調査の中で今後検討していくこととなる。

田原台中心地の アカカベ店の周辺開発について

- 問 市長の市政運営方針にもある通り、田原活性化を進めるうえで田原台中心地の開発は必須と考えるが、開発ビジョンはあるか。
- 答 田原地区地区計画を策定している当該箇所周辺は、地区環境と調和した商業等の集積を図る近隣センター地区として位置づけている。
- 問 暫定的な施策ではなく、恒久的な施策による発展と向上を望む。現状維持かと感じるがいかがか。
- 答 地域活性化には面的なまちづくりが必要と認識。土地・建物の所有者とも意見交換を実施し、関係部局と連携し調査研究を行っていきたい。
- 問 平成2年のまち開きから大きな発展がない。田原地区の中心的場所で、人も集まりやすく、また、自動運転の実装も開始される。田原台中心の開発は不可欠である。単発の施策でなく面的な考え方で相乗効果が働くような仕掛けが非常に重要だと考える。



なわて葵風会
吉田 裕彦 議員

魅力と活気に満ちたまちへについて

問 イベントや行事など、祭り事の実施については。

答 市主催事業として、市民の日頃の文化活動を発表する市民文化祭、飯盛城跡の認識を深めるために大東市と開催する飯盛城跡入門連続講座、大人の学び直しを推進するための普及啓発に向けたセミナー等を予定している。

問 市内団体で、季節に応じた行事等を各主体の判断で実施するものと考えているとのことだが、それについて現在、把握している行事は。

答 協力事業という形で事前に申請のある事業では、たわらキッチンガーデン体験会、畷LOVE♡フェス、

寝屋川舟運と畷の歴史めぐり、旧河内圏讃良郡三大寺院跡と式内社めぐり、飯盛山歴史山歩などがある。

問 コロナ禍前の様に、全市民を対象とした、イベント・行事の今後の実施については。

答 コロナ禍の過ぎた中で、見直してきた行事等も含め、魅力と活気があふれるまちの実現に向けて地域や団体等が主体となり、イベントや行事などが開催されることが重要であると認識している。市としても、協力イベント制度等に基づくさまざまな取り組みを通して市内団体を支援していきたい。

問 コロナ禍前の全市民対象の市民体育祭や市民の集いは現在はどうなっているのか。

答 市民体育祭は、2年度3年度はコロナで中止したが、4年度からスポーツフェスティバルという、名前も新たに、四條畷市スポーツ commons に委託し実施している。今年度も同様にスポーツ commons に委託という方向で今進めている状況である。

市民の集いは、市民憲章を推進させることが目的であった。その目的が一定達したことを踏まえて、終了された。

公募型のまちづくり提案事業制度の実施状況と成果について

問 実施状況と成果について伺う。

答 実施状況として、補助金交付事業数は元年度11件、2年度はコロナ禍で中止、3年度2件、4年度2件で、5年度は5件の事業が実施される予定。成果については、提案者が主となり、地域課題の解決や地域活性化を趣旨とした公益的な事業に積極的に取り組まれたほか、補助期間終了後も自主的、自立的な取り組みとして継続して事業を実施する事例がある。



市議会公明党
吉田 涼子 議員

腰かけベンチの設置について

問 四條畷神社参道に一休みできる椅子や、市内のバス停にベンチの設置を要望する声がたくさんある。泉佐野市はコミバスの停留所にサポーターベンチを設置している。幅20センチで、かなりコンパクト。気軽に休めるベンチの設置を検討してもらいたいと思うが。

答 比較的幅員の狭い道路が多く、バリアフリーの観点から通行の際、ベンチが障がいになる可能性もあり難しいと考えている。なお、気軽に休めるよう一部の公園にベンチを設置したり、社会福祉協議会で赤い羽根共同募金のテーマ型募金を活用し「ここイプロジェクト」を進めている。

問 ここイプロジェクトとは。

答 ボランティアで作成した椅子を市内数か所に設置する活動を行っており今年度は約10カ所設置をめざしている。

がん検診受診率向上に向けた取り組みについて

問 本市の取り組みは。

答 5年度は、胃がん検診対象者へ携帯電話のショートメールサービスを利用した受診勧奨の実施や、集団検診時間を夕方、夜間に試験実施するなど、取り組みを進めていく。

問 大東市では今年度より5つのがん検診が無料となった。本市も検討しているか。

答 これまで継続的に検診を受診する人が少ないことや、検診を受けるという意義を感じている人が少ない。まずは、検診を受ける意義を理解してもらうことが定期的、継続的な検診の受診に繋がると考えている。現時点で無料は考えていない。

問 府の検診率上位を調べると検診

無料が多い。府下でも5大がん検診無料化が進行中。早期発見早期治療へ繋がるため本市でも検討を要望。

不登校児童の支援について

問 本市の不登校児童はコロナ禍前と比べ変化はあるか、また、教育支援センター「フリールームなわて」の利用数は。

答 本市でも毎年不登校児童生徒数は増えている。「フリールームなわて」の利用者は4年度は少し減っている。

問 文科省から示された不登校対策 COCOLO プランでは、自分のクラスに入りづらい児童生徒が落ち着いた空間で自分に合ったペースで学習や生活ができる環境を校内に設置するスペシャルサポートルームの設置を推進している。本市にも設置しているか。

答 名称や運営形態は異なるが各校に設置している。

問 一人も取り残さない支援策を要望する。



会派に属さない議員
岸田 敦子 議員

公共施設の再編について

問 どこから作業を進めているか。

答 現在、四條畷南中学校跡地の仮防災機能整備事業に着手し、忍ヶ丘あおぞらこども園の園舎建て替えや、市民総合センター用地の中核的施設の整備に向けて、今後のスケジュールを含め検討を進めている。

問 南中跡地のワークショップの進捗状況は。

答 現在、対象者などの実施方法を検討している。

問 作業の終了までどの程度の年数がかかるか。

答 円滑に進んだ場合、特別用途地域の緩和については、一定方向性が決まった段階で以降2年ぐらいはかか

るとされており、その後、基本設計や基本構想、実施設計に至るので、工事完成まで4、5年かかるのではないかと認識している。

問 公共施設再編は市民の関心の高い問題であり、市民がどういうまちづくりを望んで、施設はどうあるべきか、8施設統合が市民に与える影響はどうかという観点で、今後とも問題提起をしていきたい。

移動図書館について

問 四條畷市内のデイサービスで働く市民から「高齢者は本が好きな人が多く、読書は認知症予防や進行を遅らせる効果も指摘されている。本を読みたいけど図書館に行けなくなり、本も高くなって買えないという高齢者のために、移動図書館を考えてほしい」という要望があった。生涯学習と健康維持を目的として、前向きに



阪南市の移動図書館。費用は400万円程度で約500冊を搭載。

検討できないか。

答 図書館に通えなくなる人への何らかの対策が必要と認識しているが、移動図書館は専用車両が非常に高価で、稼働するには複数の人員が必要であることなど解決すべき課題があり、高齢者の読書機会の創出は、他の方策を調査研究していく。

問 郵送や宅配は考えているか。

答 数が少なければ対応は十分可能だが、図書館に通ってという趣旨と違う認識になるので、その点が難しい。

生理用品のトイレへの設置について

問 枚方市では、市役所内に13か所のボックスを設置して、合計で230万円程度の予算でやっている。総合センターでニーズ調査として、実証実験からでも始めてはどうか。

答 まずは調査研究し、利用団体に利用実態を確認しながら検討したい。



枚方市役所トイレの生理用品ボックス。ナプキンとタンポンが自由に持ち出せる。



なわて葵風会
藤本 美佐子 議員

お出かけサポートタクシーについて

問 地域公共交通会議で、デマンドタクシーからお出かけサポートタクシーに至った経緯、また、略称サポタクの対象者を決めた基準は。

答 この制度に至った経緯は、2年度からのデマンドタクシーの実証運行結果により、地域公共交通会議で、公共交通から移動支援へ、福祉の観点を取り入れた検討を開始することとなった。この前提の下、理想的な交通のあり方、制度主旨及び対象者、考えられる手法の中で実現可能性などを検討した結果、既存タクシーを活用した本事業の形態に至った。

次に、対象者の候補設定については、当該事業がコミュニティバス西

部線に代わる新たな交通手段であることやこれまでの実証運行結果から、高齢者の利用頻度が高いことなどを参考とし、今後、関係機関等と協議調整により、詳細を確定していく予定。

問 福祉の観点を取り入れたということは、高齢者の移動手段の確保や交通空白地域の解消などを目的としているということでしょうか。

答 公共交通から移動支援へ移行した施策。ただ、交通空白地については、明確な定義はないものの、一定のエリアを本事業が担うことで結果的に空白地の解消にはつながると考えている。議員の認識で結構かと思う。

問 なぜ高齢者が多く、近くに医療や商業施設のない逢阪を入っていないのか。

答 コミュニティバスの西部線の後継と考えているため、当時のルートを基準にエリア設定したことから、逢阪地区は含まれていない。

問 対象者が高齢者の移動支援となっている。逢阪こそ、必要な地域で

ある。本制度の対象地区に逢阪を加えることはできないのか。

答 コミュニティバスの運行頻度は、平日1日に西部地区から東部地区に向かう便は38便、東部地区から西部地区に向かう便は37便、運行している。そのうち、逢阪の停留所に停車する便数はどちらも20便なので、こちらを活用してもらいたい。

問 逢阪地区は本当に少人数かつ高齢者が多く住む案件だからこそ、市が担う仕事だと考えている。需要のあるところは民間が入っている。民間も入れないようなところに、手を差し伸べるのが本来の行政の仕事ではないのか。ニーズ調査を実施し検討したいと、前向きな答弁もあったが、逢阪地域はだれでも判断できる。市内で福祉の観点からいっても、一番サポタクを必要としている地域だと思う。10月には、逢阪地区にサポタクが走ることを強く強く要望するとともに、この案件は引き続き経過を観察することを申し添えておく。



市議会公明党

若松 正治 議員

学校給食費の完全無償化について

問 4月から施行された年間費用はどの様になっているか。その財源は。市民からの反響はどうか。

答 第2子以降の無償化対象となる児童生徒数及び費用は、小学校で945人、4573万8000円、中学校で82人、432万9600円の合計1,027人、5006万7600円と試算し、財源は一般財源となる。市民からの反響は、非常に助かったという声がある一方、第1子からの無償化を希望する意見もある。

問 小学校第1子の半額助成という部分的な施策は可能ではないか。

答 5年度当初予算において子育て支援を一気に拡充したが、さらに、多様

な支援策が求められている状況である。しかし、財政規律と健全性を堅持することも必要と認識している。

問 本市の農業支援、人口問題、地域活性化につながる給食費完全無償化に向けて、我々と同じ思いで進めてもらいたいと考えるが、市長の考えは。

答 市民の皆さんが求める子育て支援策を感じ取り、実施していきたい思いは議員と同じだが、持続可能な市政運営を推進していくには財政規律も重要であり、今後も国政の動向を注視しつつ、子育て支援策の拡充を進めていく。

市民の憩いの公園について

問 本市にはいくつ公園はあるか、公園の管理、点検、草刈り・清掃は、どのようにしているか。

答 公園は91か所。管理及び点検は、市職員が現場確認等の際に雑草や樹木等の確認、公園利用者からの通報などにより不具合箇所等の把握に努めている。草刈り、清掃は全てではないが、シルバー人材センターに委託

し定期的に実施している。

問 草刈り、清掃に協力している公園・緑地里親支援制度の団体数、人数は。

答 団体数は39団体、152人。

問 北谷公園、市民総合センターその他の施設への防災ベンチ設置の考えは。

答 現時点では、指定避難所として計画的に設置する予定はないが、各施設の改修時期等に合わせ、各施設管理者と防災部局とが連携のもと、防災機能の観点を含めた検討を行っていききたい。

問 公園の個別名称のない61か所に名前を付けることができるか。

答 開発公園は、開発事業者が設置する公園で設置した順に番号を付与し、名称としている。このようなことから開発公園について、現在のところ名称を変更する予定はない。



畷ビジョンの会

長畑 浩則 議員

新池の都市公園化について

問 今回の選挙で配布された選挙公報に、私が取り組んでいる内容として書いたのは「プラごみの負担金問題」と「新池を都市公園に」で、任期中に解決や実現をと考えている。本市所有の新池を今後どう活用するのか。

答 公園として活用できれば、複数の課題が解決するものと考えている。

問 公園以外の活用は考えているのか。

答 現段階で公園以外の活用案は持ち合わせていない。

問 公園不足については一刻も早く解消して欲しいとの声が多く、保護者からある。子どもからお年寄りまで幅広い年齢層のレクリエーション空間や災害時でも有効に使えと考えれ

ば、結論を一刻も早く出して欲しい。

忍ヶ丘小学校の通学路について

問 通学路が以前より混雑しているが。

答 1つの班あたりの人数が多くなった地区のあること、8時以降に登校するよう協力を求めていることなど。

問 忍ヶ丘小学校北東角の信号機をスクランブル方式に変更できないか。

答 歩行者だまりを確保しなければならず、用地買収が必要となり難しい。

問 用地買収の交渉は可能か。

答 過去の経緯を含め状況がかわっていないため用地交渉は困難と考える。

問 校門を早く開けるのは無理か。

答 登校の時間より、門自体はもう少し早い時間に開けている。

問 歩道橋の延長や拡幅は無理か。

答 今年度、歩道橋の修繕の設計を行うが拡幅とか延長は想定していない。

問 歩道橋前の道が狭いが拡幅は。

答 通路の拡幅は考えていない。

問 交通専従員の増員はできたのか。

答 配置人数は現状維持と判断。

問 仮に多くの児童のところへ自転

車が突っ込んでくる、歩道橋の上で子どもが転げ子どもたちが雪崩のように落ちてくる可能性がないとも言い切れない。少しでも解決できる点があれば、すぐに実行して欲しい。

こども誰でも通園制度について

問 新聞記事に「新制度は親の就労時間を問わず、誰でも時間単位で保育所を利用できるようにするもので、(略)支援を得られない親が孤立したり、虐待につながるリスクが指摘されていた」とあった。2月定例議会で「地域とつながりのない未就園の子どもたちの虐待が防げないのか。提案だが、未就園児を定期的に公立園で週1回でも預かる仕組みづくりはできないか。」と質問した。この時の答弁は、今も変わらないか。

答 答弁した「事業の拡充や創設が難しい状況」は変わっていない。しかし、「こども誰でも通園制度」のモデル事業は、虐待リスクへの対応につながる背景もあるため、動向を注視していく考え。



なわて葵風会
渡辺 裕 議員

くすのき広域連合解散に伴う現状の問題点と解決すべき課題について

問 現状における問題点は。

答 構成市間や庁内関係部署間の協議に加え、国や医師会等との連携や調整が多岐にわたっていることや、事業の移行に伴う業務の増加である。

問 解決すべき課題は。

答 介護報酬に関わる地域区分の変更への対応や、地域密着型サービス利用者の構成市間での継続利用の調整、くすのき広域連合の事務承継市としての業務への対応がある。

問 介護事業者との調整は現段階でどのように進んでいるか。

答 四條畷市介護保険事業者連絡会の定期開催に市職員が出席し、くす

のき広域連合との調整内容を共有している。

問 保険料徴収について、普通徴収の取り漏れが重要な課題となる。二次的な徴収では、高齢福祉課で対応するよりは、徴収対策課と協力しながら進める方が、徴収率の向上につながると思うが、市の見解は。

答 賦課及び督促までは高齢福祉課が対応するものと現段階では考えている。

問 徴収率を上げないと、保険料に影響してしまう。徴収対策課が関わるなら、条例改正等も必要になるので、その準備も進めるべきだ。

問 くすのき広域連合での地域区分は何%で、四條畷市に移行した場合には何%が適用になる見込みか。

答 現在くすのき広域連合での地域区分は15%で、四條畷市に移行した場合は6%が適用になる見込み。

問 近隣市の地域区分は、大東市15%、寝屋川市12%、交野市10%である。この状況の中で、このまま6%になると影響は大きい。

地域手当は、県をまたいだとしても隣接してさえいればその比率が適用される。一方において、地域区分に関しては、県をまたがないという考えがあるので、交野市の10%程度をめざすべきだと思っている。

公共施設再編について

問 新市役所・総合センター等の建設に伴う財政計画は。

答 個別施設計画で再編に係る将来更新費用の目標額を年間7億円以内と定めている。4年9月策定の中長期財政計画でも、当該目標額を基に財政収支見通しを公表している。今後は、中核的施設の概算整備費用の算定を進める中、学校や他の公共施設における建て替えや改修等に係る概算費用についても算定し、施工時期や財源も考慮のうえ、財政収支に与える影響を把握していく。

今後の定例議会の予定

四條畷市議会は通年会期制をとっているため、予定されている日程以外にも臨時で議会を開催することがあります（日程は変更される場合があります）

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	9/1	2
					本会議(9月初日) 議案審議	
9/3	4	5	6	7	8	9
	総務建設常任委員会 付託議案の審査	教育福祉常任委員会 付託議案の審査	予算決算常任委員会 付託議案の審査			
9/10	11	12	13	14	15	16
				本会議(9月2日目) 付託議案の採決・ 一般質問	本会議(9月最終日) 一般質問	
9/17	18	19	20	21	22	23
9/24	25	26	27	28	29	30
10/1	2	3	4	5	6	
		予算決算常任委員会 一般会計決算の審査	予算決算常任委員会 一般会計決算の審査	予算決算常任委員会 一般会計決算の審査		

時間：原則午前 10 時から
場所：**本会議** 議場
(市役所本館 3 階)
委員会 委員会室
(市役所本館 3 階)



**インターネット中継・録画配信で
議会のようなご覧になれます**

令和5年6月定例議会における議場映像ライブ配信の
アクセス件数は、**1,038件**でした。 ※会議録の掲載は9月中旬予定